

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

中耕ってなんですか

植物の根周りを耕すことです。中耕を何故するのかと言うと植物が元気よく育つためのお手伝いです。野菜が育っていくに連れて、地面が固くなる場合が多々あります。また、雨が降りその雨が乾くと地面は確実に固くなります。人間に踏み固めるということもあるでしょう。根周りを耕すことで畑が柔らかくなり水はけを良くし、根元に養分が届き易くなり、雑草の防除にもなります。中耕により育ちやすい環境作りができ、野菜・植物が生育が高くなります。
(ながやす)



アジサイ

今年のアジサイはきれいに咲いてくれましたか？花が咲かないという相談がよくあります。花が咲かない原因はいくつかあります。剪定の時に花芽を切ってしまうている。日光が不足している。肥料の窒素が多すぎる。寒風で芽が傷んだ、などです。アジサイは枝先に花が咲きますがその花の何個か下の葉の根元に花芽ができ来年の「花」が咲きます。この花芽が出来るのが開花の直後です。秋にそれを切ってしまうと花芽がなくなって咲かなくなってしまいます。アジサイは半日陰でも育つ植物ですが、基本的には日光を好む植物で日陰では花付きが悪くなります。肥料はリン酸の多い肥料をまきしょう。アジサイの花芽は冬の低温乾燥や春先の寒の戻りなどで、凍害を受けることがあります。この現象を「芽飛び」と言い花が咲きません。ただし新枝咲きのタイプは秋に強剪定しても翌春に花が見られます。(いとう)

世界中から集められた植物と暮らすこと。

植物がどんな性質なのかを考える時、原産地が手掛かりになります。湿度の高いジャングルの木漏れ日で暮らしているもの、雨季と乾季がはっきりしている砂漠地帯のもの、高山、などなど。今や世界中から植物が集められ園芸店で売られています。植物は長い年月をかけて、住んでいる気候や土地に合わせて進化して現代の姿をしています。自宅で育てていて何か元気ではない時、病害虫の対処だけではなく、元々どんなところで生きていたのか考えてみましょう。育てている環境も思いやることで、植物と良い関係が築けるのではないのでしょうか。
(きのした)

夏に坊主

八月は暑さが最高潮。少しでも涼しい朝のうちにジョーロやハサミを持って庭仕事。菜園の収穫にも汗をかく日々が続きます。そんな私たちをあざ笑うかのように、ナニワズは夏が近づくと葉を落として休眠。秋になってから芽吹き、常緑樹のように葉をつけて越冬します。そして雪が溶けるといち早く香りの良い花を咲かせます。そんな賢い習性があるのにもかかわらず、ナツボウズというあだ名(俗名)は少しかわいそうな気がします。

(かわはら)

夏バラ？秋バラ？

連続の真夏日で体力を消耗したのは人間もバラも同じです。33度越えの暑さでも薔薇の生育は元気一杯。二番花の夏バラは頑張っ咲き3日位で花弁がチリチリと成り終わり、バラは株の体力を維持します。咲いた枝先を切られると、それから50日近く9月15日位には気温も下がり、気持ち良さそうにふっくらとした秋バラが咲くのです。春、夏、秋と咲く薔薇の力強さに私もパワーをいただいています。(たかはし)

バラ園

少しだけ、夏休み。(´ω´)

実は、バラは高温が苦手な植物です。バラの生育温度は15～25度で、それ以上だと生長が鈍くなり、開花しても一番花より小さくてイジけたような花になります。また、開花するということは、花にすべてエネルギーをあげて株の体力を消耗することになりますので、夏バテしないようになるべく花は切ってあげて体力温存し夏をしのぎます。9月ごろから、昼夜の寒暖差で生長が緩やかになり、一年でいちばん色と香りが濃く質感の良い秋花が楽しめますので、そのための切り戻しでもあります。

今月の開花情報



室内公園 色彩館



ハイビスカス *Hibiscus rosa-sinensis* cv.

アオイ科フヨウ属

原産地：ハワイ諸島、モーリシャス島

南国気分になりたいときは、やっぱりハイビスカスですよね！色彩館の南国植物温室では、黄花とピンク色の八重花を植栽しています。名前はエジプトの美を司る女神「ヒビス」に由来します。最近よくハイビスカスティーを見かけるようになりましたが、実際は「ローゼル」という同じアオイ科の植物の罎を使用しています。クエン酸やビタミン豊富で、疲労回復や美容に良いそうですよ。また、身近な場面だと、ホリホック（コケッココ花）も

同じアオイ科の仲間です。花びらの根元がネバナバしていて、よく顔にくっつけて遊びました。…う～ん、なんだかコケッココ花でも南国気分に入れそうな気がしてきたかも（笑）。

【知恵袋】バラの色によって違う花言葉

- ・ 赤色のバラ「あなたを愛しています」「愛情」「美」「情熱」「熱烈な恋」「美貌」
- ・ 白色のバラ「純潔」「私はあなたにふさわしい」「深い尊敬」「純潔」「清純」
- ・ ピンク色のバラ「しとやか」「上品」「感銘」「可愛い人」「美しい少女」「温かい心」
- ・ 青色のバラ「夢かなう」「不可能」「奇跡」「神の祝福」
- ・ 黄色のバラ「愛情の薄らぎ」「嫉妬」「友情」「平和」「不貞」愛の告白
- ・ オレンジ色のバラ「無邪気」「魅惑」「絆」「信頼」
- ・ 緑色のバラ「穏やか」「希望を持ち得る」
- ・ 緋色のバラ「灼熱の恋」
- ・ 濃紅色のバラ「内気」「恥ずかしさ」
- ・ 紅色のバラ「死ぬほど恋焦がれています」
- ・ 黒赤色のバラ「死ぬまで憎みます」「憎悪」「恨み」「化けて出ますよ」
- ・ 黒色のバラ「貴方はあくまで私のもの」「憎しみ、恨み」「永遠の愛」
- ・ 虹色のバラ「無限の可能性」
- ・ 絞り模様のバラ「満足」
- ・ 赤に白斑のバラ「戦争」「争い」

チャット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第五十二回

フロリバンダローズ ラバグルート

Lavaglut

作出国：ドイツ
作出者：Kordes
作出年：1978年
ハーディネスゾーン：Z5
繰り返し咲き性
交配：Gruss an Bayern® × 実生

ラバグルートは、ドイツ語で直訳すると「溶岩の輝き」という意味です。その名のとおり燃えたぎる溶岩のように赤黒く、直径5～6cmほどの花をたくさん付けます。少々遅咲きでバラの最盛期を過ぎてもだらだらと長く楽しめて、房咲きで花保ちも非常に良く雨にも強いので、咲き進むとかたまりになってモリモリとしてくれます。花弁は厚みを感じるベルベットのように、一方葉は光沢を帯びているため質感のコントラストも楽しい品種です。初夏の晴天には赤が良く映え、秋には色に深みが増して大人っぽい色になり、季節の雰囲気によく馴染んでくれるバラだと思います。

作出は、かの有名な北ドイツの名家・コルデスです。コルデス社は120年以上も続く育種家の一族で、企業理念は「世界で最も美しいバラ」だそうです…寒さ・病気に強いといえば、コルデスでしょ！と思っていた筆者にとっては意外でした。耐寒性や耐病性はもうコルデスにとっては当たり前なんです！素晴らしいです！ラバグルートを作ったのは創業者 ヴィルヘルム・コルデスI世の孫にあたるライマー・コルデス氏です。調べてみると、実は当園のコルデス作出のバラ約60品種のうち半分弱の26品種がライマー氏の作出でした。さらには、

殿堂入りした「Iceberg:アイスバーグ」や、つるバラのなかでも有名な「Angela:アンジェラ」なども彼が作出しています。作出系統はHT系統はもちろんHSpn系統、Moss系統など多岐にわたり、彼の創造力の豊かさや多才さがうかがえます。

さてこのラバグルート、当園ではウェルカムガーデンから整形式ローズガーデンまでの道、通称「縦通り」の花壇で栽培しています。冬季間、見晴台のある冷水岳から吹きおろす風の影響を一番受けやすい場所で、一昨年の例年まれにみる寡雪のときには凍害で春に地際まで切る羽目に…(泣)。しかし根元から生き活きとした芽が吹きだし、秋ごろには復活を果たしました。逆に、これほどの過酷な環境にならないと凍害に遭わないし、回復力があるという証明にもなりました。冬の間じゅう冷風が吹き荒ぶような個人邸はあまり無いと思いますので、普通に冬囲いをしてあげれば耐寒性については問題ないと思います。黒点病にかかりやすいとの記述が見られますので、春先の剪定の際に、内側や花壇から見えない場所の枝をサッパリとさせて、茂った内側の葉を除去するなど蒸れに注意すると良いでしょう。今年のような長雨が続くような時は特に注意したいですね。

いわみざわローズフェスタ 2018

IWAMIZAWA Rose Festa

9/22 SAT ▶ 10/21 SUN 9:00 ~ 17:00

秋

バラには年に一度だけ咲く「一季咲き」と数回咲く「繰り返し咲き」があります。初夏の一番花は、大きさ・ボリュームともに圧巻です。しかし色濃く香り豊かになり、美しく質が高いと云われているのは秋バラです。気温の低下と昼夜の寒暖差が生長を緩やかにし、蕾に色素や香り成分をたくさん蓄積してくれるため、色も深まり香りも高まるのです。当園の秋花は、9月中旬頃～10月中旬頃まで楽しめます。

8月の市民園芸講座のご案内



- 8月18日(土) 13:00~15:00 樹木の増やし方
料金：無料 定員：40名
講師：錦織 正智さん 道立総合研究機構 林業試験場
- 8月26日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理
料金：無料 定員：40名 講師：川原 元信さん 川原花木園
- 9月9日(日) 13:00~15:00 飾ってたのしい植物画～観葉植物編～
料金：1,000円 定員：10名 講師：木下 京子さん フラワーマスター
- 9月22日(土)・30日(日)・10月7日(日) 13:00~15:00
バラ管理スタッフのローズツアー～アレコレ聞ける 一歩深いバラのこと。
料金：無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ
- 9月24日(祝月) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方
料金：無料 定員：40名 講師：伊達 佐重さん 北海道自然保護協会
- 9月30日(日) 13:00~15:00
バラ園の花を使って器に生ける秋のフラワーアレンジメント
料金：1,000円 定員：20名
講師：大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー